

フレデリック・スタール



静岡県富士山世界遺産センター 開館5周年記念展



富士山

博士の愛した富士山

はくし

つくも

九十九黄人(豊勝)

富士山を愛した「お札博士」スタールの生涯
その通訳をつとめた九十九黄人との交流
スタールのコレクションを引き継ぎ
自らも収集を続けた黄人の
富士山関係資料コレクションを初公開する展示会

2022 (令和4) 年

2023 (令和5) 年

12/23 [金] → 2/5 [日]

静岡県富士山世界遺産センター2階 企画展示室

開館時間 / 午前9時～午後5時 (最終入場は午後4時30分)

休館日 / 毎月第三火曜日 (会期中の休館日: 12月27日(火)～31日(土)、1月17日(火))

常設展観覧料 / 一般300円、団体(有料観覧者20名以上)200円、15歳未満・70歳以上・学生・障がい者等無料(要証明)

※本企画展は常設展観覧料でご覧いただけます。



静岡県富士山世界遺産センター



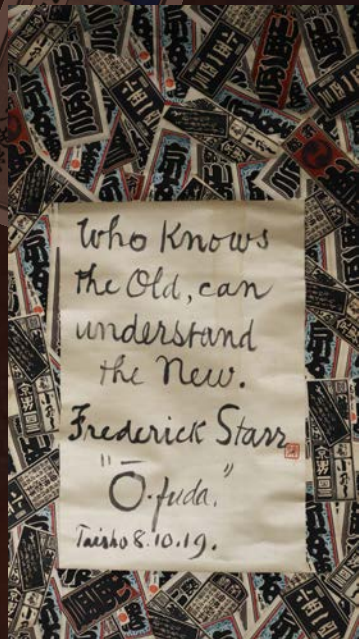
フレデリック・スタール

フレデリック・スタール (1858年9月2日～1933年8月14日)

ニューヨーク州オーバーン市に生まれる。1882年にロチェスター大学で学位を得て、1885年にラファイエット大学で地質学における博士号を取得、アメリカ自然史博物館 (AMNH) で学芸員として働く。明治37年 (1904) 2月にアイヌ研究のため初来日、以後昭和8年 (1933) まで16回に及んだ。同年8月に東京で他界。ベルギーとイタリアから勲章を受けられ、日本からは瑞宝章が授与された。1922年にはシカゴ大学で富士山に関する展示会を開催している。自ら山頂へも5回登山しているが、全て静岡県小山町の須走口の犬米谷を定宿とし登山したものである。スタールと須走地区の関係は深く、死後に慰霊碑が建てられ、遺言により遺骨も埋葬されている。親道家であったスタールの日本研究は幅広く、富士講のほか日本に来るきっかけとなったアイヌ、松浦武四郎、なぞなど、絵解き、ひな祭り、祭社の山車、河童信仰、納札、看板、達磨、碁、将棋、寒祭りなどである。特に納札に関して自分の名をもじった「寿多有」と刷られた納札 (千社札) を日本各地に持ち歩き、神社仏閣に貼ってまわったとされる。この行為がスタールを「お札博士」と呼ばれる所以となった。



スタール博士肖像



スタール自筆書 (Who knows the old, can understand the new.)



九十九黄人 (豊勝)

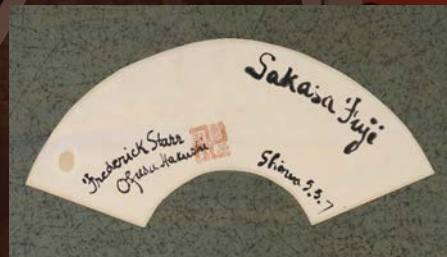
九十九黄人 (豊勝) (1894年7月17日～1998年2月10日)

早稲田大学在学中よりシカゴ大学人類学専攻の教授フレデリック・スタールの通訳をつとめた。黄人氏がスタール博士の調査に同行した際、あるいは博士の呼びかけによって集められた民俗学、民族学関係の博物資料を陳列する館として、昭和3年 (1928) に東洋民俗博物館が奈良県奈良市に開館している。

黄人氏が収集した資料の中には富士山関係資料も多く含まれていたが、この資料は個人所蔵分として九十九黄人の裏山に建てられた富士文庫に保管され、現在まで一般公開されることはなかった。今回の展示会は、黄人氏の子息弓彦氏の御協力により、スタール博士のコレクションを引き継いだ九十九黄人氏の富士山関係資料コレクションを初めて公開する展示会である。



東洋民俗博物館 (奈良市あやめ池)



スタール自筆書 (Sakasa fuji)



板マネキ (スタールオリジナルデザイン)



フレデリック・スタール博士銅像 (東洋民俗博物館)

- I お札博士フレデリック・スタール～研究に捧げた生涯
- II スタール博士と九十九黄人～交流とコレクション
- III 九十九黄人富士山資料コレクション～新発見・展示会初公開の概要

関連イベント

〈公開講座〉

「父、九十九黄人を語る」

令和5年1月15日 (日) 午後2時～午後3時

講師：九十九弓彦氏 (東洋民俗博物館理事長)

定員：30名

会場：静岡県富士山世界遺産センター1階研修室

参加費：無料、要事前申込

※センター公式HP内の予約システムからお申し込みください。

申込期間：令和4年12月1日 (木)～令和5年1月11日 (水)

〈ギャラリートーク〉

展示室にて担当学芸員が展示解説を行います。

令和4年12月24日 (土)・25日 (日)

令和5年1月14日 (土)

令和5年2月4日 (土)

各日午後1時～、午後3時～
(各回30分程度、事前申込不要)



富士山と夫婦岩



稲畑作り御札博士人形

静岡県富士山世界遺産センター

〔アクセス〕

電車/JR身延線富士宮駅から徒歩8分

車/新東名高速道路新富士ICから約10分・東名高速道路富士ICから約15分

〒418-0067 静岡県富士宮市宮町5-12

TEL 0544-21-3776

FAX 0544-23-6800

WEB <https://mtfuji-whc.jp>



撮影：平井広行

